

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成29年度】

主管課名(担当名)	教育総務課(学校教育担当)		
事務事業名	奨学資金貸付運営経費	事業番号	159
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-5 高等学校教育の充実
	施策目標	豊かな心と健やかな体を育む高等学校教育が充実したまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	高校・大学へ進学希望の成績優秀者で経済的理由で就学困難な学生
	対象者の今後の予想	増加傾向
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	現在、市内中学生の進学率はほぼ100%に達しており義務教育的性格が強くなっているため、高等教育機関への進学に係る経済的な負担を軽減するため、入学準備金及び奨学資金を貸し付ける。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	経済的な理由で学生の向学心が排除されることのないよう、教育機会の拡充を図り、保護者の経済負担の軽減を図る。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 奨学資金の貸付件数(年間:新規貸付・継続貸付含む)	5人	5人	5人	6人			5人	5人
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		H29予算		H29決算		H30予算		
		2,492		1,876		1,418		
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他	1,553		1,631		1,384		
	一般財源	939		245		34		
人員(人工)		0.17		0.17		0.17		
職員人件費(=人員(人工)×7,696千円)		1,308		1,308		1,308		
総事業費(=事業費+職員人件費)		3,800		3,184		2,726		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)		633		530				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	■検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない □検討していない
見直しの内容など	国の動向を踏まえながら給付型奨学金を検討し、市民の利用しやすい方法を検討する。
今後の動向・市民ニーズなど	市中経済の低迷により、貸付相談は数件程度あるが、貸付額が少額であることから、貸付には至っていないものの、潜在的要望は相当数あると思われる。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	■結びついている □一部結びついている □結びついていない 新規貸付者数は毎年1~3名程度となっており、奨学資金に対する一定の需要はある。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	□可能 □一部可能 ■不可能 教育基本法の定めにより、市町村が奨学金制度を実施しなければならない。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	□ある ■一部ある □ない 国では貸与型から給付型への移行を検討しているため、根室市においても国の動向を踏まえつつ、その必要性を調査・研究し、奨学資金制度を見直す必要がある。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	□ある □一部ある ■ない 適切に運用されている。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	□ある □一部ある ■ない 根室市特別奨学資金制度とは貸付対象が異なるため、統合はすべきでない。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	□ある □検討の必要性がある □ない ■既に負担がある 全額償還としている。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	□現状のまま継続 ■見直しのうえで継続 (■拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (H 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了
--------	---

作成年月日

平成30年6月